

大阪市会だより一般質問特集号 平成21年1月

編集と発行…大阪市会事務局政策調査担当 大阪市北区中之島1-3-20 電話6208-8694
 大阪市会ホームページアドレス…http://www.city.osaka.jp/shikai/

**自由民主党・市民クラブ
高野伸生議員**

○文化・観光のまちづくりについて

質問 京阪中之島線の開通により、中之島西部へのアクセスは大きく向上し、これを機に民間においても開発意欲が高まっています。



一方、中之島4丁目地区では近代美術館建設のプロジェクトが止まったままです。近代美術館は、集客やにぎわいを創出するとともに、経済効果を生み出す核になると考えています。整備に向けて、実現可能な方策を早急に打ち出すべきです。

また、水都大阪2009の開催を控え、遊歩道や船を活用した中之島の周遊性を高めるとともに、市民が中之島に集い、参加できる機会をふやすことに取り組まなければなりません。

答弁 近代美術館の整備については、市民や企業の協力がぜひとも必要であり、ともにつくり育てていくことによって、市税の投入を抑える新たな仕組みをつくりたいと考えています。地区全体として調和のとれた近代美術館が実現できるよう整備計画の策定に取り組んでいきます。

中之島地区では、大阪府や経済界とも協力して、花と緑・光と水のまちづくりのシンボルイベントとして水都大阪2009を開催します。

10月に期間限定で実施した「川床」のような市民みずからの企画・実施によるさまざまな水辺の社会実験にも取り組み、水辺空間の活用と継続性・発展性のある仕組みを構築していきます。

《その他の質問項目》

〔財政問題及びWTCの処理、緊急経済対策、大阪駅北地区のまちづくり、教育改革、大都市制度 など〕

**民主党・市民連合
山本修子議員**

○経費削減の取組(素案)について

質問 素案には、市民サービスの低下や市民生活に多大な影響を及ぼす内容が含まれています。



なかでも敬老優待乗車証制度と上下水道福祉措置の見直し案については、原案のままでは反対です。特に敬老優待乗車証制度については、素案どおりの見直しが行われることになれば高齢者の社会参加は確実に減少し、高齢者施策に悪影響が及ぶのではないかと危惧します。

そこで、この制度を維持・継続するために、交通事業から出資者である本市に「利益の状況に応じ、納付金を納付する」制度を活用することを提案します。

答弁 市民とともに大阪を元気にしていくため、厳しい財政状況を克服し、将来にわたって持続可能な行財政基盤を確立するべく、経費削減の取組(素案)を取りまとめ公表しました。

敬老優待乗車証制度や上下水道料金福祉措置制度を維持・継続するために、受益と負担のあるべき姿を精査しているところです。

提案された一般会計に対する特別会計からの納付金については、地方公営企業法に定める手続や趣旨を十分踏まえた上で、今後、利益の状況や企業の経営課題に応じて検討していかねばならないと認識しており、市全体のマネジメントのなかで慎重に取り扱っていきたいと考えています。

《その他の質問項目》

〔元気な大阪をめざす政策推進ビジョン、中学校給食、保育所待機児童解消、救急医療対策、緊急金融対策 など〕

**公明党
待場康生議員**

○市政改革の推進体制と次期行財政改革について

質問 平松市政の推進体制を見ると、市政改革本部は身内である職員で構成され、外部から招いた市政改革アドバイザーのかなめも国の役職との兼務が困難なようであり、当初計画された体制の構築が厳しい局面です。



市政改革アドバイザーと行財政改革検討委員会が市政改革本部とどうかかわるのかも不透明であり、さまざまな困難が予想されている改革エンジン役が不在となるのではないですか。経費削減の取組(素案)の発表と相まって考えると、現状こそが市長の批判していた状態になってしまっているのではと心配しています。

市政改革アドバイザーと行財政改革検討委員会が市政改革本部とどうかかわるのかも不透明であり、さまざまな困難が予想されている改革エンジン役が不在となるのではないですか。経費削減の取組(素案)の発表と相まって考えると、現状こそが市長の批判していた状態になってしまっているのではと心配しています。

答弁 現在、直面している危機的な財政状況に対応するためには、行財政改革を着実に進めることが喫緊の課題です。行財政改革を進めるにあたっては、外部の意見を伺うことは重要であると考えています。

市政改革アドバイザーは外部の専門家3名に就任いただき、市政の基本方針に関することなど広く市政全般にわたって助言をいただくことにしています。行財政改革検討委員会の中核として参画いただき、市政運営上の諸課題を踏まえて、次期行財政改革計画の策定に向けた意見をいただいきたいと考えています。

今後、年内に委員会を設置して、引き続きゆるむことのないよう市政改革を推進していきます。

《その他の質問項目》

〔政策推進ビジョン、経済対策、福祉施策、教育施策、女性施策、今後のまちづくり、区政改革の取り組み など〕

**日本共産党
渡司考一議員**

○敬老パスと水道料金減免制度について

質問 敬老パス、水道料金減免制度について、この両制度は、言うまでもなく多くの高齢者の生きる支えとなっており、この制度があるからこそ低い年金でもなんとかやっつけられる、あちこち気兼ねなく移動できて元気のもとになっているなど、財政難のなかでも続けてほしいとの声が多数寄せられています。



こうした声を受けて、本議会は10月10日に「敬老優待乗車証等の見直し(素案)に反対する決議」を採択しました。

市長は議会のこの決議を尊重し、この両制度の改悪について撤回すべきだと考えます。

答弁 敬老優待乗車証交付制度は、70歳以上の高齢者が市営交通機関を利用して出かけることにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進に役割を果たしてきたと考えており、また、上下水道料金福祉措置については、福祉措置としての位置づけを明確にした上で、今後も持続可能な制度として維持・継続していくための制度改正がぜひとも必要であると考えています。

両制度については、パブリックコメント等において、多くの意見をいただいております。これらの意見や市会決議を踏まえ、今後、総合的に検討を加え、市会での議論をいただきながら見直すべきものは見直していきたいと考えています。

《その他の質問項目》

〔国保料滞納者への資格証明書の交付、市立大学2部の存続、金融施策、大型開発の中止・見直し など〕

お知らせ

昨年12月3日の本会議における市長説明及び12月4日の一般質問の様子は、大阪市会ホームページでインターネット録画放映しています。ぜひご覧ください。また、平成20年12月市会定例会(一般会計等決算審議)の概要については、大阪市会だより2月号に掲載します。